



梅雨明けはまだ先でしょうか 蒸し蒸しした陽気が続きます
コロナ禍とオリンピック、皆さんの心が温くなる夏になりますように

**新型コロナと地域の子育て支援**

理事長 小俣みどり

私たちは、2020年1月、豪華客船の乗船者が新型コロナウイルス感染症に感染していることや外国からの帰国者の感染のニュースに、大変なことが起こっているんだなあ…という不安はありましたが、こんなに私たちの生活に影響を及ぼすことになるとは思っていませんでした。その後、感染は世界中に広がり、医療現場の悲惨さが報道されるようになり、不安は募ってもどうすればよいかははっきり分からないまま日々を過ごす状況がありました。有名人が感染したことがニュースで流れたり、知り合いや身近な人、家族が感染する、自分自身もいつ感染するか分からないという恐怖心を抱く人も少なくなかったと思います。

緊急事態宣言により、子育て家庭の仕事と育児の両立がさらに難しくなり、家庭以外の親子の行き場が縮小し孤立する中で、DVや虐待が増えていることが社会問題として浮き彫りになっています。

地域の子育て支援の現場でも同様に、女性に偏りがちだった家事・育児の負担が、さらに際立ったことから「明日、子どもを預かって欲しい」、「母親が精神的な不安から、育児・家事ができなくなってしまった」、「産前産後に実家に帰れない」、「出産時に実家から手伝いに来てもらえなくなった」等のSOSの問い合わせが、2月～7月の間に延べ50件以上（近隣市在住や他県の方も含む）もありました。

感染しないために、感染させないために、人との接触、三密は避ける、手洗い、消毒の徹底が必要ですが、子どもの世話をするには三密は避けられません。どうやって支援を求めてくる人たちに応えていくのか？当団体ができることは何か？を考え、まず、安全で安心な支援を継続していくために、「安全チェックリスト」を作成しました。利用者へも支援者へも周知するために、ホームページにあげ、利用者、支援者全ての方の手に届くように郵送もしました。また家族にも同様に新型コロナ感染が疑われる場合は支援活動を実施しないことを繰り返しお伝えしました。さらに病児の預かりについては、今まではかかりつけ医につれて行く活動を実施していましたが、保護者がお子さんの受診を済ませ、診断を受けた後の預かりについて実施することにしました。ご不便をおかけしますが、病児の預かりについてはコロナ禍が終息するまでその形を続けていく予定です。

マスクが購入できずに、マスク工場に勤めていた友人に頼って購入したり、医療関係者の友人から消毒液を送ってもらったりとさまざまな工夫をしながら、支援活動を今日までストップすることなく続けられたのも皆さんのご協力があったることと感謝しています。

経験したことがないこのような事態で、日々社会状況も変わり、どれが正しい情報で、誰を信じたら良いのか、どこに助けを求めたら良いのか分からないという人たちが少なくありませんでした。特に立場の弱い幼い子どもを抱えた家庭の場合、母親はどんなに孤立を感じ不安がのしかかっていることでしょう。孤立から虐待は始まるといっても過言ではないと思っています。

以前から、身近な地域で、子育て中の家庭へ手を差し伸べ、個々のニーズに対応できる支援を大切にしてきました。これからはさらに、立場は違っても手をつなぎ、ノウハウを提供し合い、ネットワークを作り、ともに考え、連携して子ども・親・家庭を支え合う支援を実施していきましょう。

2021年度4月からは、3か所の学童クラブの運営を指定管理者として実施しています。子どもたちが「ただいま」と帰ってくるもう一つのお家となるよう、子どもたちの最善の利益を大切に出来る場にしていきたいと思っています。



第 18 回定期総会、お疲れ様でした



6/13 (日)、昨年に続きオンライン会議となった定期総会は 48 名の出席で成立し、議事はすべて異議なく承認されました。リアルでの開催ではないため、欠席を止む無く選択された正会員もいらしたかと思いますが、監事の方々が時間をかけて活動のことも含めて丁寧に監査をしてくださったことの報告をいただきました。

そこには、チェックリストをもとに様々な工夫をし、活動を止めることなく実施したことが詳細に報告されました。利用者・支援者それぞれの会員の皆さま、1 年間、本当にありがとうございました。そしてまた、引き続きよろしく願いいたします。

第 60 回理事会報告



6/26 (土)、オンラインと対面のハイブリッドで第 60 回理事会を開催しました。4/1~スタートしている新規事業の学童クラブ指定管理について状況報告をし、6 月 15 日号の市報に掲載された 2022 年度の新たな指定管理者募集について議事にあがりました。

法人の理念を基にした学童クラブの理念がしっかりしているため活動はぶれることがなく、指定管理となった 3 学童クラブの主任が主体となり話し合いを重ねて進めることができていること、全国学童保育指導員学校研修会に支援員のほとんどが参加し、学びに対して意識が高く、課題についても共有しながら解決していきたいと考えていること、何よりも子どもの最善の利益を守りたいという強い思いなどを報告しました。

理事からは、どのような研修を計画しているのかなどの質問もありましたが、今まで培ってきた様々な子育て支援事業の実績を活かし、地域における育児力の向上の一役を担っていくことは大切であることと 3 年間かけて全ての清瀬市立学童クラブが指定管理者に移行していくことは決まっており、利益優先の企業なども応募することが考えられますが、地域のつながりと信頼関係を深め、みんなで笑いあえる街づくりに貢献していきます。

学童クラブのおやつが変わりました



6 月より学童クラブのおやつがグレードアップしました！

栄養士によりメニューが考えられ、バナナやおにぎり、パン、ヨーグルトなど、フレッシュで捕食として成長期の子どもたちに必要なエネルギーを補うことができる食材が提供されています。

ピッコロが学童クラブの指定管理をするにあたって掲げている方針、「みんな仲良く、笑顔で過ごし、おいしいおやつを食べる」。

おやつを通して、子どもたちが健やかに、ホッとゆったり過ごせるよう、支援員、栄養士共に協力し取り組んでいきます。



【新型コロナウイルス感染症予防について】

会員の皆さまには感染対策にご協力いただき、心から感謝いたします。なお、引続き安全チェックリストを使用しての活動を継続してまいります。

ピッコロさん、いつもありがとうございます

利用者 M.I

実家が遠く、子どもが産まれた当時は周りに知り合いがいなかった私にとってピッコロさんは本当に有り難い存在でした。赤ちゃんの後追いが始まり実家が全然頼れなくなった時に悩んでいたら、こういうサービスがあるよと教えてもらい、初めてホームビジターと養育支援を利用させていただきました。来ていただく方は全員優しく心に寄り添ってくださり、子どもが大好きで、本当に安心できました。その後は、ファミサポに登録して、今まで行きづらかった歯医者や病院にも赤ちゃんをみてもらって行けるようになりました。

そして、今は二人目が産まれて、またいろいろとお世話になっています。上の子と遊んでいただいたり、下の子を見てもらっている間に私が上の子と関わったり...、お陰さまで上の子の赤ちゃん返りはすぐに終わりました。コロナ禍での予防注射や健診も、どちらかをファミサポさんに家で見ていただけるので助かっています。これからもどうぞよろしく願いいたします。



利用者さんや支援者さんの思い
なんでもあれこれ

ピッコロの一員として活動して

支援者 M

ピッコロの会員として20年。養育支援のヘルパーとして、いくつかのご家庭へ行かせていただき、主に産まれたばかりの赤ちゃんの沐浴を中心に支援を依頼されることが多くありました。

柔らかい肌とお乳の甘いかおりと、時には真っ赤になって大きな泣き声をあげるその様子にいつも癒やされています。

先日は、第3子が産まれるから沐浴と食事作りの依頼がありました。よく聞くと6年前に2番目のお子さんが産まれたときにうかがったお家からの依頼でした。6年ぶりに訪問するとママは笑顔で迎えてくださり、「Mさんが来てくれて、嬉しいです」との言葉もいただき、こちら嬉しい気持ちでいっぱいになりました。

沐浴もさせていただいたのですが、沐浴剤に代わり塩を少しお湯に入れるだけで、あとは手のひらで優しく洗う沐浴。毎回、同じようにしたのですが、赤ちゃんはきれいに洗えていました。時代と共に子育ての方法もいろいろと変わってくるのだなぁと関心しました。

土曜日には、すっかり大きくなった2番目のお子さんと一番上のお子さんと空いた時間に外の散歩にも行きました。近くの小さな公園で鉄棒をしたり、網でちょうちょなどの虫を捕ったり、鬼ごっこをしました。特に、鬼ごっこは大人げなく本気を出して終わってからどっと疲れてしまいましたが、本気でやったからこそ、お子さんたちも満足してくれたみたいで「またやりたい!」と。

自分の子どもとこんなにじっくり関わっていたかなあと子育てを振り返ったりしながら、楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。

地域の中ずっと住み続けていくくださることに感謝の気持ちでいっぱいになった1日でした。

ホームスタート報告会 & 子育て講演会

ボランティアの訪問でママが笑顔を取り戻す

7/16
(金)

ころぼっくるホール
13:00 開場

13:30~

講演「ホームスタートの支援の必要性・
担う人へのメッセージ」

講師：渡邊 香氏

国立看護大学校 准教授

14:50~

ホームスタート報告

育児休暇中に利用したパパのお話と
訪問したビジターの話

参加無料/定員 50名/保育 5名

参加対象者：ホームビジターとして訪問活動
を始めたい方/ホームスタート
を利用してみたい方・利用した
方/子育てに関心のある方



*事前の申込みが必要です。

問合せ/申込み 042-444-4533

《会員状況 2021.7.1 現在》正会員 78 名・準会員 90 名・賛助会員 15 名 (団体 2 名・個人 13 名)

◇2020 年度 3,000 円以上寄付者・37 名◇

◇2021 年度 3,000 円以上寄付者 牧野八郎さん・牧野ふみ子さん (あいうえお順)・・・ありがとうございました。

♥法人会員♥



新鮮こだわり中国料理



(株)関工務店

スガハラ印刷

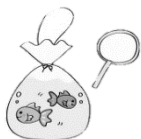
同心居



* NPO の活動を維持していくため、ピッコロでは寄付を募っています。事務所にはぼち袋も用意していますが、直接お振込みくださる方もいらっしゃいます。会員の皆さんに限らず、お知り合いの方へもお声掛けいただくと嬉しいです。お気持ちをお願いします。

【寄付お振込先】ゆうちょ銀行【口座名】子育てネットワーク・ピッコロ【口座番号】00190-6-602187

5 月～6 月の動き	— これからの活動予定 —
○ピッコロ △K-net、つどいの広場 ◆ファミサポ HS=ホームスタート HV=ホームビジター 5/6(木)◆調整会議 5/7(金)○定例会 5/8(土)○ルーム職員会議 5/10(月)△K-net 運営会議 ○主任会議(四小学童クラブ)△つどいの広場調整会議 5/13(木)◆保育サービス講習会 延期 5/14(金)△K-net 子育てひろば 5/16(日)○監査 5/17(月)○学童クラブ職員研修会(四小学童クラブ) 5/18(火)◆3～4 か月健診(ファミサポ説明) 5/21(金) HSJ オーガナイザー研修会① HSJ 総会 全国交流会②「予期せぬできごと」 ○東京都助成事業・第 4 回検討委員会 5/24(月) △K-net リフレッシュ講座/外遊び △おんらいんしゃべりば@元町つどい 5/25(火) ○学童クラブ研修会(四小学童クラブ) 6/22 梅園学童クラブ、6/29 清明小学童クラブ 5/28(金)△K-net リフレッシュ講座/ストレッチ 6/6(日)○全国学童保育指導員学校オンライン講座 6/8(火)◆3～4 か月健診(ファミサポ説明) 6/9(水)要対協実務者会議 6/11(金)△K-net 子育てひろば 6/13(日)○第 18 回定期総会(Zoom) 6/16(水)△K-net 中里ひろば 6/18(金)HS 東京推進協議会総会&交流会(Zoom) 6/25(金)△K-net 子育てひろば ○東京都助成事業・第 5 回検討委員会 6/30(水)◆保育サービス講習会開始(ころぼっくる) →7/21(水)まで	7/1(木)9:30～ ○主任会議(梅園学童クラブ) 7/2(金)10:00～・11:00～ ○定例会(セミナーハウス) 7/3(土)9:00～ ○ルーム職員会議(事務所) 7/5(月)9:15～ ◆調整会議(ころぼっくる地域活動室) 9:30～ △K-net 運営会議(事務所) 13:00～ △つどいの広場調整会議(元町つどいの広場) 7/9(金)10:00～ △K-net 子育てひろば(アイレック会議室) 7/10(土)13:30～HS 関東エリア協議会オーガナイザー研修会 7/11(日)13:30～HS 関東エリア協議会総会&オーガナイザー研修会 7/13(火)13:00～◆3～4 か月健診(ファミサポ説明)健康センター 7/14(水)10:00～△K-net 中里子育てひろば 7/16(金)13:30～HS ホームビジター報告会&子育て講演会 (ころぼっくるホール) 13:30～△おんらいんしゃべりば@元町つどい 7/20(火)9:30～HSJ 学齢期ホームビジタースキルアップ研修会 (けやきホール第 3 会議室) 7/29(木)14:00～△K-net ヴェニア子育てセンター養成講座(アイレック会議室) 7/30(金)10:00～△ K-net 子育てひろば(アイレック会議室) 18:30～ ○東京都助成事業・第 6 回検討委員会 8/3(火)10:00～・11:00～○正会員のつどい(けやきホール第 3 会議室) 8/6(金)10:00～ △ K-net 子育てひろば(アイレック会議室) 8/7(土)9:30～ ◆スキルアップ研修会(ころぼっくるホール) 8/10(火)13:00～◆3～4 か月健診(ファミサポ説明)健康センター 8/20(金)14:00～○責任者会議(けやきホール第 3 会議室) 9/2(木)10:00～・11:00～ ○定例会(けやきホールセミナーハウス)



《編集後記》

雨の日は長靴を履いて、雨合羽を着て外へ散歩。水たまりでピチャピチャいっまでも遊ぶのが、我が子は好きだった。大人はうっとうしく感じるが、子どもには楽し

この時期になると佐々木正美氏(児童精神科医)を思い出す。「花咲く日を楽しみに」の書籍を大事に子育てして来た方がいる。この子はちゃんと育っているのだから、子どもの成長の一つひとつが気になってきた。子どもというものが、球根のようなもの。どんな花が咲くかわからないけれど、きっと美しい花が咲く。信じて、辛抱強く見守っていき人こそ、子育ての上手な人。その言葉を励みに、そして、頑張り過ぎない子育てを歩んでいる。子どもを幸せにするのなんてとても簡単なことですよ。親が笑顔ならそれだけで子どもは幸せなんです。自分が親を幸せにしたと思って、自信たっぷりに育っていくのです。佐々木先生の言葉。亡くなってからもお人を支えてくださる。